

宮城県卓球協会主催大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

令和3年3月16日宮城県卓球協会

1 はじめに

日本卓球協会では、各地域での卓球練習、競技大会の再開を念頭に『新型コロナウイルス感染症対策』を作成しました。このガイドラインは、日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに国際卓球連盟（ITTF）のガイドラインに掲載されている競技特性を踏まえた注意事項等を加味して作成したものです。

なお、ここに述べる感染対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものです。従って、適宜改訂を予定しております。ご利用の際には最新版であることをご確認ください。（日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対2021年3月15日版より）

これをうけて、宮城県卓球協会では、日本スポーツ協会や日本卓球協会、宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部より示されている、「各種スポーツイベントを再開するに当たっての基準や、再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について」と照らし合わせながら、宮城県卓球協会主催大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインを作成し、本ガイドラインに従ってスポーツイベントを行っていきたいと考えております。なお、スポーツイベントの実施に際しての新型コロナウイルス感染症への感染を防止するための方策については、必ずしも十分な科学的な知見が集積されている訳ではありません。このため、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることに御留意をお願いします。

2 スポーツイベントの再開に当たっての基本的考え方について

スポーツイベントの再開に当たっては、改正基本的対処方針、専門家会議提言等に基づき、以下のとおり対応することが適当です。

なお、当該スポーツイベントが開催される都道府県の方針に従うことが大前提であり、開催や実施の判断に迷われた際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等への御相談をお願いします。（日本スポーツ協会より発行：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインより）

これを受けて、スポーツイベントを宮城県卓球協会主催の各種大会をとらえます。宮城県が、以下の状況にある場合は、スポーツイベントを実施することは、原則ございません。

- ・ 特定警戒都道府県
- ・ 特定警戒都道府県以外の特定都道府県（緊急事態宣言対象の都道府県である。）

すなわち、緊急事態宣言の対象区域外の都道府県である状況でなければ、各種大会は中止、延期の方向で進めてまいります。また、その状況下でも宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部より、「全国的かつ大規模な催物等の開催については、中止または延期するよう、主催者より慎重な対応を要請します。」などと示された場合は、開催は困難です。

3 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策について

(1) スポーツイベントの参加募集時の対応

卓球競技大会開催時の感染防止策については、都道府県知事の方針に反しないことが大前提です。その上で大会主催者は、その運営に当たり以下の事項にご留意下さい。

(1) 卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
- ② 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ③ ダブルスや団体戦を実施する場合は、以下⑥の項目の遵守を徹底し、「飛沫感染」及び「接触感染」対策を十分に講じる。
- ④ 当面の間、競技大会は無観客とすることを推奨する。
- ⑤ 大会前2週間以内で以下の事項に該当する者には参加見合わせを求めることを事前に周知する。
 - 平熱を超える発熱（おおむね 37 度5分以上）がある。
 - 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある。
 - 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある。
 - 嗅覚や味覚の異常がある。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者（上記の症状を有する者）がいる。
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。
- ⑥ 参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する。
 - マスクを持参すること（参加受付時や試合待機時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用すること）。
 - こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）。
 - 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
 - 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
 - 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること。（日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対 2021 年 3 月 15 日版より）

これを受けて、宮城県卓球協会では、大会参加の際に上記ガイドラインを参考にした同意書を作成し、参加選手、監督及び引率者、応援、観客、役員も含めた会場内に入る全員にその提出を義務付けます。（同意いただけない方には、退場していただくこともやむをえません）また、試合前後は各自持参のアルコールジェルなどで手指消毒をし、握手はせず、台を挟んだ距離からサーブシーブを決め、ラケット交換などもせず、お互い「シェーク裏裏です。」のように相手にラバーなどを伝え、速やかに試合を開始し、終了後もその場で礼のみとする。なお、チェンジコートも行わない。審判を行う際も前後も同様に手指消毒を行う。この手順で、極力参加者同士の距離を確保する。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱・咳・呼吸困難・倦怠感などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、サーモグラフィーや非接触体温計などで発熱者を特定し入場を制限することも検討する)。
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの密を避けるよう配慮すること。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできる限り避けるようにすること。
- ⑦ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること。(氏名、年齢、住所、連絡先)。
※ 個人情報の取扱いに十分注意する。
大会エントリー時に連絡先が登録されていれば、当日の提出は氏名と体温、症状の有無のみで可。
 - 大会当日の体温。
 - 大会前2週間における以下の事項の有無。
 - 平熱を超える発熱(おおむね 37 度5分以上)がある。
 - 風邪の症状(咳、のどの痛みなど)がある。
 - 倦怠(けんたい)感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難(息苦しさなど)がある。
 - 嗅覚や味覚の異常がある。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方(上記の症状を有する方)がいる。
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

これを受けて、宮城県卓球協会では、受付窓口手指消毒剤を設置し、「発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように」との呼び掛けを表示し、声かけをします。受付時に対面する場は作りません。配布物は各チームごと机に並べて置きますので、代表の方が持って行ってください。棄権などについては、名簿を準備しますので、そちらに記入していただくことになります。参加料については、当日受付にて支払いいただくので、封筒におつりのないように入れた状態で準備し、チーム名選手名を記入して提出してください。なお、当日棄権の場合や、大会が中止となった場合などは、参加料は不要です。受付混雑時は、密にならぬよう、離れて待機するご協力をお願いいたします。

(3) スポーツイベント参加者への対応

1) 体調の確認

主催者は、(2) ⑦に掲載されている事項を記載した書面の提出を求めること。

2) マスク等の準備

主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること。なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、口と鼻をしっかりと覆うマスクの着用を求めること。

3) 大会参加前後の留意事項

イベントの前後のミーティングや懇親会、写真撮影等においても、三つの密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

1) これらについては、同意書に含めます。個人情報についても、提出を義務付けますので、ご協力をよろしくお願いいたします。2) マスクについては、各自準備をお願いします。原則、試合中の選手以外はすべて着用が義務づけられます。3) については、ミーティング、懇親会などは極力実施しないようにお願いいたします。

(4) スポーツイベントの主催者が準備等すべき事項

1) 会場入り口、受付

- ① 手指消毒剤の設置。
- ② 受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮すること。

2) 手洗い場所・洗面所（トイレ）

- ① 手洗い場には石鹼（足踏み式手指消毒器が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。

3) 更衣室

- ① 一度に入室する参加者の数を制限すること。
- ② 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ③ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

1) 体育館と相談し、ポンプ式の石鹼やペーパータオルを、必要に応じて宮城県卓球協会にて準備します。参加者の皆様も、ご自身のタオルを持参するようご協力よろしくお願いいたします。30 秒以上の手洗い推奨の表示をしますので、意識して手洗いをお願いいたします。2) 洗面所については、1) と同じように対応します。3) 更衣室については、宮城県卓球協会としては準備しません。また、「座席を 1 つずつ空ける」「大声を出さない。」などの指示もいたしますので、したがっていただきますよう、よろしくお願いいたします。定期的に換気の時間を入れて対応します。ゴミは全て持ち帰りをお願いいたします。

(5) 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

参加者が遵守すべき事項

1) 大会前 2 週間以内に以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある。
- 風邪の症状（咳、のどの痛みなど）がある。
- 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある。
- 嗅覚や味覚の異常がある。
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方（上記の症状を有する方）がいる。

□ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

2) マスクを持参すること。

卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。

3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）。

5) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。

6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

7) 大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

9) 大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること。

試合を行う際の留意点

1) タオルの共用はしない。

2) 飲料は自分専用のもを飲み、回し飲みはしない。

3) 卓球台の上で手を拭かない。

4) シューズの裏を手で拭かない。

5) 握手などの身体を接触させる挨拶は行なわない。

6) 不要な声出しはしない。

これを受けて、宮城県卓球協会では、試合中に使用するタオルについて、「卓球台にかけないものとする」とさせていただきます。タオルを使用したい場合は、各自でカゴのようなものを準備し、その中にタオルを入れて台の下に置くようにしてください。カゴの代わりにバックやビニールなどでもかまいません。

宮城県卓球協会主催大会参加者の皆様へ

新型コロナウイルス対策のため、今までと同じように大会運営を行うことが困難であるため、以下の留意事項をすべて確認し、大会当日のトラブルを少しでも減らせるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

選手のみなさまへ（試合参加の流れ）

- (1) 同意書を記入し、当日持参すること。（当日の体温記入）
- (2) マスクを準備し、当日着用して来場。
- (3) 朝会場での練習はクロスコースでの練習可能。（マスク着用、人との距離注意）。
- (4) 試合前後の握手はしない（シェーク裏裏です。などと台を挟んだ状態で相手に伝える）。なお、試合ではチェンジコートはしない。試合前後、審判前後は必ず手指消毒を行う。アルコールジェルについては、選手個人が各自で準備するものとする。
- (5) トイレなどでこまめに手洗い（30秒以上）をする。
- (6) ゴミなどは全て持ち帰る。
- (7) 大きな声で応援などはしない。
- (8) 試合中に使用するタオルは、台にかけない。カゴやバックなどを持参し、その中にタオルを入れて、台の下に置くこと。

引率者、保護者のみなさまへ（試合参加の流れ）

- (1) 参加申し込みを宮城県卓球協会のホームページにて申し込む。
- (2) ホームページ上の同意書をダウンロードし、当日持参すること。（当日の体温記入）
- (3) 大会参加者関係者に、「同意書がないと入場できない」ことを確実に伝える。
- (4) マスクを準備し、当日着用して来場。
- (5) トイレなどでこまめに手洗い（30秒以上）をする。
- (6) ゴミなどは全て持ち帰る。
- (7) 大きな声で応援などはしない。
- (8) 試合後2週間以内に、新型コロナウイルス感染が疑われる選手、保護者がチーム内にいた場合、速やかに宮城県卓球協会に報告。その後指示に従う。
- (9) アルコールジェルなどでこまめに手指消毒をする。準備は各自で行う。

この件に対する問い合わせ

宮城県卓球協会

事務局長 山下哲哉

Mail:tohokutakkyum@gmail.com